1179	62	題号不明	山﨑千枝子	言語	日の翼まつすぐに来る冬薔薇	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	547	￥43	￥1	￥1	冬
1202	63	題号不明	市村究一郎	言語	子を産みしくびれが角に冬の牛	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	20	￥43	￥1	￥1	冬
1203	63	題号不明	市村究一郎	言語	小雪といふ野のかげり田のひかり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	28	￥43	￥1	￥1	冬
1204	63	題号不明	市村究一郎	言語	ややありて言きらめくや霜柱	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	143	￥43	￥1	￥1	冬
1205	63	題号不明	市村究一郎	言語	明け方に敷き直したる宝舟	2022	『新版　角川俳句大歳時記　冬』	208	￥43	￥1	￥1	冬
1206	63	題号不明	市村究一郎	言語	角巻の胸を合はすや遠弥彦	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	232	￥43	￥1	￥1	冬
1207	63	題号不明	市村究一郎	言語	沢庵を漬けたるあとも風荒るる	2008	『俳句歳時記　第四版』	737	￥43	￥1	￥1	冬
1208	63	題号不明	市村究一郎	言語	一人出て星仰ぎをり麦蒔く日	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	347	￥43	￥1	￥1	冬
1209	63	題号不明	市村究一郎	言語	里神楽神の生れます早拍子	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	419	￥43	￥1	￥1	冬
1210	63	題号不明	市村究一郎	言語	見事なる腹が頭上を鴨返す	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	497	￥43	￥1	￥1	冬
1211	63	題号不明	市村究一郎	言語	自転車に白菜つけしままの昼	2007	「平成秀句選集」	94	￥43	￥1	￥1	冬
1253	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	青き鴨もはらに鳴ける霙かな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	102	￥43	￥1	￥1	冬
1254	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	次の間に脱いでゐるらし雪ばかま	2017	『昭和俳句作品年表(戦後篇)』	188	￥43	￥1	￥1	冬
1255	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	氷柱落つ音に遅れて朝日来る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	148	￥43	￥1	￥1	冬
1256	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	寝酒おき襖をかたくしめて去る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	251	￥43	￥1	￥1	冬
1257	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	鍋焼や泊ると決めて父の家	2008	『俳句歳時記　第四版』	729	￥43	￥1	￥1	冬
1258	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	炭斗のうち鮮しく日々穢る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	309	￥43	￥1	￥1	冬
1259	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	羚羊の跡ぞ深雪を巌頭へ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	470	￥43	￥1	￥1	冬
1260	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	綿虫に遁る意のあるかなしさよ	2017	『昭和俳句作品年表(戦後篇)』	132	￥43	￥1	￥1	冬
1261	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	寒椿落ちたるほかに塵もなし	2008	『俳句歳時記　第四版』	827	￥43	￥1	￥1	冬
1262	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	風雪の前のいま見る枯芭蕉	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	587	￥43	￥1	￥1	冬
1263	64	題号不明	篠田悌二郎	言語	枯蓮にひかりは満てり来て悔いず	2000	『昭和秀句Ⅰ＜新版＞日本秀句７』	8	￥43	￥1	￥1	冬
1274	65	題号不明	杓谷多見夫	言語	妻亡くて石鹸乾く十二月	2007	「平成秀句選集」	185	￥43	￥1	￥1	冬
1275	65	題号不明	杓谷多見夫	言語	北風が浚ひて湖上無一物	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	87	￥43	￥1	￥1	冬
1276	65	題号不明	杓谷多見夫	言語	柊を挿すや妻亡く母も亡し	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	213	￥43	￥1	￥1	冬
1277	65	題号不明	杓谷多見夫	言語	冬蝶の力得て石離れけり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	532	￥43	￥1	￥1	冬
1278	65	題号不明	杓谷多見夫	言語	裏口のとんと用なし冬の蜂	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	533	￥43	￥1	￥1	冬
1279	65	題号不明	杓谷多見夫	言語	誰からも遠くに在りて一冬木	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	570	￥43	￥1	￥1	冬
1280	65	題号不明	杓谷多見夫	言語	国盗りの綱引き峠冬枯るる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	577	￥43	￥1	￥1	冬